

令和6年度 第3回下野市地域自立支援協議会 議事録

日 時 令和6年10月29日(火) 午後1時30分～午後3時30分  
場 所 下野市庁舎 203 会議室  
出席者 委員 :別紙参照  
欠席者5名 藤田委員、渡邊委員、山家委員、本田委員、  
阿部委員  
アドバイザー:大嶋コーディネーター(欠席)  
傍聴人 なし  
審議内容 (原則として発言委員名を明記し、発言の要点のみを記載している)

第1部 全体会 午後1時30分～午後2時10分

1. 開会

社会福祉課 川嶋課長

欠席報告 藤田委員、渡邊委員、山家委員、本田委員、阿部委員

2. 会長あいさつ

3. 議事

議事録署名人に佐藤委員、水本委員を指名し了承。

(1) しもつけふくしフェスタ実施報告。

(事務局)

資料1に基づき報告。

(鱒淵会長)

時期は例年より早かったが、コロナ以前の規模に戻しての開催であった。霧雨が朝のうち降っていたという報告もありましたが、仙頭委員からご意見があればお願いしたい。

(仙頭委員)

私は受付として参加させていただきました。例年より時期を早めたことで、あいにくの雨でしたが、寒くなることなく実施することができた。

社会福祉協議会で今回のふくしフェスタについて内部アンケートをとり、準備をしっかり行うことができ、今年度はよかったという意見が出た。いい点は次年度にもつなげていきたい。委員の皆様にご協力いただき、ここまでできたと思う。来年以降もご協力をお願いしたい。

(鱒淵会長)

自立支援委員会から参加された小林委員はいかがか。

(小林委員)

当日手伝いとして参加した。来場者の方を見渡すと、お子様からお年寄りまで幅広い年代層の方が参加し、楽しみにしてくださっていることが肌で感じられ、市民の皆様の意識が高まっていると感じた。きらきらドームづくりでは、来場者の皆様にお声がけしながら関わることができ、温かい雰囲気が伝わりよい企画であったと感じた。

また、さまざまな機関が出店しており、食べ物や動物園、電気自動車からの充電体験など、防災の意識を高めるという部分でもブースが工夫されており、来場された方が満足できる内容であったと思う。楽しい半日を過ごすことができた。

(鱒淵会長)

とてもいいふくしフェスタになったということで、来年度以降も、より自立支援協議会の内容が市民の方に理解していただけるような内容にしていきたい。

(2 相談支援部会からの報告)

(事務局)

資料2に基づき報告。

(鱒淵会長)

地域移行について検討するWGの活動報告と、市内の障がい者施設の管理者向け、従事者向けの研修会を開催していただいた。相談支援部会の活動報告につきましてご質問等はあるか。

(田崎委員)

管理者向け・従事者向けの研修会を実施する背景、目的は何かあるのか。

(事務局)

ご指摘いただいた点について、施設の研修だけでは行き届かない点を補うこと、管理者の悩みを共有することなど、研修を通して事業所がステップアップできるような手伝いが出来たらと考え実施した。

(田崎委員)

何か希望する声が上がったのか。

(事務局)

事業所が下野市内に少しずつ増えてきているという背景がある。

(田崎委員)

どの分野においても虐待が増えている中で、そのような背景があったのかという思いがあった。

(事務局)

虐待を止めることも目的の1つではある。

(会長)

相談支援部会で実施している研修に、より多く事業所の職員の方に参加していただ

き、ひとりひとりの意識が変わっていくことを目指していきたいと思う。

(3) 子ども部会からの報告

(事務局)

資料3に基づき報告。

(鱒淵会長)

相談員さんや放課後等デイサービスを利用したいと思う保護者の方も容易にこのリーフレットにアクセスできるような状況は整っているということによいか。

(事務局)

その通りである。

(鱒淵会長)

市内にこれだけ事業所ができ、この中からどのように選ぶかが難しくなっているが、それぞれの施設の特徴を相談員さんが理解し、ケースに合った場所を提供できるようになっていくととても良いツールになるのではないかと思う。

子ども部会では、この後研修会等も企画されているようであるが、その点はどうか。

(事務局)

研修会は来年の2月の予定であるため、本日の部会で打合せをする予定である。

(4) 就労部会からの報告

(事務局)

資料4に基づき報告。

(鱒淵会長)

障がい者の就労支援についての研修・意見交換会は、市内施設連絡会において市内に施設はあるがお互いに何をしているのかわからない、サービス管理責任者の役割はどのようになっているのだろうかという話が上がった。就労部会で研修会を設けることで意見交換ができるのではないかと企画した。

実際に研修会に参加した山城委員はどのような感想をえられたか。

(山城委員)

まず、研修会を企画していただき感謝する。サービス管理責任者も日々の業務に追われる中ではあるが、研修会にお声がけいただき、めーぷるや国分寺特別支援学校の先生からお話をいただくことができ、一般就労に向けての流れを深く理解することができた。

グループワークにおいても話始めると時間が足りず、次回はより深くテーマを決めて意見交換できたらと考えている。

(鱒淵会長)

講師として参加して下さった野中委員からご感想等はあるか。

(野中委員)

今回、特別支援学校在学中にどのような力を身に着けるのか、進路指導の方法等をお話した。高校1年生から保護者の方と事業所の見学をし、体験をし、どのような環境でどのような支援があれば自分の子ががんばれそうかを、事業所選びの際に説明した。卒業後はめーふるにどのようにつないでいくかをご説明し、みなさまのご参考になったということでよかったと感じている。

高校3年生のこの時期は、内諾をいただく時期なのでご報告をさせていただきたい。下野市内、10名の生徒さんがおり8名が内諾をいただいている。今年は軽度の子も多いため、4名が企業に一般就労、1名がA型、2名がB型、2名が生活介護、1名が措置延長という形で、卒業後が見えてきた。

(会長)

何かご質問等はあるか。

(田崎委員)

アンケートにある、「今後のA型・B型の運営が難しくなると思った。」というのは、どのような意味で難しいと表現したのか。

(事務局)

こちらに記載していないが、A型事業所の方の意見として、最低賃金が954円から1004円に上がることを危惧されていた。事業所としての支出が以前より増え、従来通りの運営ではカバーが難しいということであった。

B型事業所の方の意見として、定員が埋まらない、職員が定着しないなど様々な意見が上がり、集約し運営が難しくなるという表現を用いた。

#### (5) 下野市障がい児者相談支援センター活動報告

(事務局)

資料5及びパンフレットに基づき報告。

(鱒淵会長)

来年の7月ごろに下野市にできる定員10人程度のALSなど重度の方を対象とした日中支援型のGHの情報はあるか。

(事務局)

難病や終末期、ALSの方が対象となるGHが立ち上がるということで営業に来られた。来年の夏ごろオープン予定ということで、場所は関根井付近で、現在着工したところである。定員が10名ほど、24時間面会が可能で終末期にも対応したGHになる予定とのこと。

#### (6) 障がい者週間について

(事務局)

資料6及びリーフレットに基づき報告。

(会長)

毎年12月3日～9日の障害者週間に合わせ、セミナーを開催したり、ハートショップしもつけとして市役所内あるいはヨークベニマル石橋店において市内施設で生産したものを販売したりしている。この活動を通して、広く地域の方に障がい者の方への理解を深めていくものであるため、ぜひ委員の皆様にも地域の中に広めていただき、より多くの方に研修会に参加し、買い物に立ち寄っていただけるようお声をかけをお願いしたい。

(7)障害者虐待の受理状況及び障害者差別解消法に係る相談受理状況報告

(事務局)

資料7に基づき報告。

(8)その他

(事務局)

令和6年度障害福祉サービス報酬改定の内容についてご報告する。

居住系サービスである障害者支援施設及び共同生活援助において、各事業所で地域の関係者を含む外部の目を入れた、地域連携推進会議を開催すること、および会議の構成員が事業所を見学する機会を設けることが義務付けられた。令和6年度については努力義務であるが、令和7年度以降は義務となる。

続いて、放課後等デイサービス・児童発達支援事業所について、支援プログラムの作成、公表、自己評価、保護者評価などの新設・見直しの項目が挙げられた。

また、日中サービス支援型共同生活援助の評価について、日中サービス支援型共同生活援助事業所を地域に開かれたサービスとすることにより、当該サービスの質の確保をする観点から、年に1回以上当該事業所が所在する市町村の自立支援協議会に対し、事業実施状況を報告し、自立支援協議会から評価を受けるとともに、必要な助言を聞く機会を設けなければならないとされている。こちらについては、令和7年度から実施できるよう現在調整中であるため、令和7年度はこちらの評価にもご協力いただきたい。

最後に、社会福祉協議会が実施するセミナーのチラシをご確認いただきたい。

第2部 部会 午後2時40分から午後3時30分

各部会に分かれ、部会協議事項に沿って検討、協議。

4. 閉会

議事録署名人 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_